

授業方法	授業時数	履修学年	教科目	担当
講義	30	1, 2	関係法規・制度	室野 伸安
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 理美容師の業務に係る衛生法規・制度及び消費者保護法規・制度について、正しい知識を習得しておかなければならない必要性を理解させ、あわせて、公衆衛生を担う理美容師の社会的責務、職業倫理について、自覚を促す。 ・ 理美容の業務に関する規定内容を正確に理解させ、衛生法規が、理美容業を行う場合の方針として有する意義を把握させる。 				
1年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	8	<p>～衛生行政～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会生活のなかで法律、政治、行政の役割、機能など衛生法規を学ぶため必要な基礎的事項を理解させる。 ・ 我が国の行政の仕組み、国の行政と地方の行政との関係などについて理解させる。 ・ 衛生行政はどのような行政か、衛生行政の目標、衛生行政の種類など衛生行政の意義について知らせる。 ・ 衛生行政を行う行政機関について述べ、特に理美容業と関係の深い保健所について、その任務や活動及び組織を理解させる。 <p>～理美容師法～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理美容師法がどのような沿革を経て現在の姿になったかを知らせ、これらの法律の目的と意義を理解させる。 ・ 期末試験 		
2	6	<p>～理美容師法～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理美容に関する用語が法律でどのように定義されているかを理解させる。 ・ 理美容師について、その意義、免許制度、免許手続、免許の欠格要件、免許の登録などを理解させる。 ・ 理美容師試験について、その意義、試験の内容及び受験の手続を理解させる。 ・ 理美容師養成施設について、その過程、教科科目などを知らせる。 ・ 理美容師について、その意義、試験の内容及び受験の手続を理解させる。 ・ 理美容師の業務上の遵守事項、業務を行う場所などに関する法律の規定について理解させる。 ・ 理美容師の講じるべき衛生措置について、その意義と内容を十分に理解させることにより、公衆衛生における理美容師の職責を自覚させる。 ・ 理美容所の開設などの届出、施設の検査確認などを知らせる。 ・ 期末試験 		
3	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理美容所について講じなければならない衛生措置など理美容所に関する規制の内容を十分に理解させる。 ・ 理美容師の免許取消、業務停止について、その内容を理解させる。 ・ 理美容師の閉鎖命令について、その内容を理解させる。 ・ 理美容師法の罰則について、その内容を理解させる。 ・ 期末試験 		
2年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	3	・1年次の復習(プリント等)、期末試験		
2	3	・1年次の復習(プリント等)、期末試験		
3	4	・1年次の復習(プリント等)、期末試験		
成 績 評 価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期毎に試験を行い、100点満点中60点以上を合格とし、成績で評価する。 				

授業方法	授業時数	履修学年	教科目	担当
講義	90	1、2	衛生管理	北上俊幸

学習目標

・公衆衛生の意義と本質とを明らかにすることによって、理美容師が公衆衛生の維持と増進とについて重大な責務を担わなければならない理由は何かを十分に理解させることが必要であること。特に、環境衛生の意義と目的について、理美容師の業務と関連付けなが

1年次

学期	時数	授 業 計 画
1	15	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生の意義について理解させるとともに、公衆衛生が日常生活あるいは理美容業とどのように結びつくか、公衆衛生の発展向上のために理美容師として何をなすべきかを理解させる。 ・公衆衛生の発展の歴史を概観し、公衆衛生の思想がどのように発展してきたかを知らせる。 ・理美容所における衛生管理、特に消毒の意義と目的について理解させる。 ・消毒方法の種類、原理、特徴について具体的に説明する。 ・理美容の業務を行う上で、どのような感染症に注意すべきかを具体的に示すとともに、その予防対策について系統的に理解させる。 ・期末試験
2	20	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生は、対人的な予防医学と対物的な環境衛生とに大別されることを知らせ、さらに環境衛生が健康で、文化的な生活の基盤をなすものであることえお理解させる。 ・保健所の機能、組織、業務などについて知らせ、保健所が地域の保健衛生行政において、中核的存在であること及び理・美容業と保健所とは密接な関係があることを理解させる。 ・理美容器具等の対象物の材質、構造等に応じた適切な消毒方法の選択と適正な実施方法について学ばせる。 ・期末試験
3	15	<ul style="list-style-type: none"> ・理美容所における衛生措置、特に消毒の意義について、感染症対策と関連付けて理解させる。 ・理美容所において用いられている代表的な消毒方法について、正しい操作方法を確実に身に付けさせる。 ・理美容所における廃棄物処理、環境保全対策について理解させる。 ・期末試験

2年次

学期	時数	授 業 計 画
1	15	<ul style="list-style-type: none"> ・環境衛生の意義と内容を理解させるとともに、理美容所において特に注意する点について理解させる。 ・理美容所における環境衛生、特に採光、照明、換気、床などの構造設備、衣服の衛生について理解させる。
2	15	・復習(プリント等)、期末試験
3	10	・復習(プリント等)、期末試験

成績評価

・学期毎に試験を行い、100点満点中60点以上を合格とし、成績で評価する。

授業方法	授業時数	履修学年	教 科 目	担 当
講義	60	1・2	化粧品化学	赤澤 寛
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品は、理美容技術を行う上で欠くことのできないものである反面、その使用方法を誤れば重大な健康被害を起こす恐れがあるものであるから、その化学的な性質を理解させるとともに、これを正しく使用するためには正確な知識と適正な技術とを身に付けることが重要であることを認識させる。 ・理美容の業務を安全かつ効果的に行うには、化粧品の正確な科学的知識と合理的な取り扱い方法を習熟させ、合わせて化粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ばせる。 				
1年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品の基本原理について、理美容技術の実例に則して理解させる ・化粧品用原料について、どのような原料からできており、それらがどのような役割を担っているか学ばせる。 ・期末試験 		
2	15	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎化粧品の機能と使用目的を学ばせる。 ・メイクアップ用化粧品について、使用用途と効能について学ばせる。 ・頭皮・毛髪用化粧品、シャンプー剤・スタイリング剤・パーマ剤・ヘアカラー製品・育毛剤について使用目的、成分、作用原理、使用上の注意について理解させる。 ・期末試験 		
3	10	<ul style="list-style-type: none"> ・芳香製品と特殊化粧品 芳香製品の目的と効果、特殊化粧品の皮膚への影響について学ばせる。 ・期末試験 		
2年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の復習(プリント等)、期末試験 		
2	10	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の復習(プリント等)、期末試験 		
3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の復習(プリント等)、期末試験 		
成 績 評 価				
<ul style="list-style-type: none"> ・学期毎に試験を行い、100点満点中60点以上を合格とし、成績で評価する。 				

授業方法	授業時数	履修学年	教 科 目	担 当
講義	90	1・2	保健	志村 良治
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 理美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚及び毛髪等皮膚付属器官の構造と機能する科学的、系統的な知識の習得をする。 ・ 理美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が不可欠であることを理解させる。 				
1年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	15	<p>～人体の構造及び機能～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人体構造と機能に関する基本的事項について理解させる。 <p>～皮膚及び皮膚付属器官の構造及び機能～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皮膚、皮膚付属器官(毛髪、爪、脂せん、油せんなど)の構造について理解させる。 ・ 皮膚の生理的作用について理解させるとともに、これらの作用と理美容との関係について学ばせる。 ・ 期末試験 		
2	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 骨格、筋肉、各種臓器の種類、構造、機能について理解させる。 ・ 毛髪、爪の生理的意義と特性について、理美容技術との関連に配慮しつつ理解させる。 <p>～皮膚及び皮膚付属器官の保健衛生～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皮膚、皮膚付属器官の状態に影響を与える因子にはどのようなものがあるか学ばせる。 ・ 期末試験 		
3	15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人体の調整機能(神経、内分泌、免疫)のしくみについて理解させる。 ・ 皮膚、皮膚付属器官を健康に保つための方法について述べ、理美容の施術を安全かつ効果的に行うために注意すべき事項について学ばせること。特に、毛髪の保健衛生については、理美容技術の基礎であることから、重点をおいて学ばせる。 ・ 期末試験 		
2年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人体の構造、機能と疾病との関連について理解させる。 <p>～皮膚及び皮膚付属器官の疾患～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な皮膚、皮膚付属器官の疾患の種類、原因、症状、予防・治療法について、理美容の施術と関連付けながら理解させる。 ・ 期末試験 		
2	15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化粧品によるかぶれについて、発生機序と予防法との概略を述べ、理美容の業務において注意すべき点は何かを学ばせる。 ・ 1年次の復習 ・ 期末試験 		
3	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次の復習(プリント等)、期末試験 		
成 績 評 価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期毎に試験を行い、100点満点中60点以上を合格とし、成績で評価する。 				

授業方法	授業時数	履修学年	教 科 目	担 当
講義	60	1・2	文化論	佐々木あやこ
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・理美容業の使命の一つが、より優れた人間美の創造、実現あることをよく認識させ、この使命の達成のために必要な美的感覚を身につけ、これを洗練し、芸術的な表現力と鑑賞力を養う。 ・理美容の業務を全うするためには、確かな技術力を身につけるとともに、豊かな感性に裏打ちされた優れた表現力を養うことが必要であることを自覚させる。 				
1年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国における理美容ファッションの変遷について知らせる。 ・海外における理美容ファッションの変遷について知らせる。 ・流行を追う心理、流行が社会に及ぼす影響、流行が理美容業において占める意義と役割について知らせる。 ・期末試験 		
2	10	<ul style="list-style-type: none"> ・造形の原理、造形と心理、理美容における造形の意義と応用などについて学ばせる。 ・服飾の原理、理美容における服飾の意義などについて理解させる。 ・期末試験 		
3	10	<ul style="list-style-type: none"> ・服飾の歴史のあらまし、衣服の種類、衣服に関するエチケットなどについて学ばせる。 ・期末試験 		
2年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・復習 ・期末試験 		
2	10	<ul style="list-style-type: none"> ・復習 ・期末試験 		
3	10	<ul style="list-style-type: none"> ・復習 ・期末試験 		
成 績 評 価				
<ul style="list-style-type: none"> ・学期毎に試験を行い、100点満点中60点以上を合格とし、成績で評価する。 				

授業方法	授業時数	履修学年	教 科 目	担 当
講義	30	1・2	運営管理	北上幸司

学習目標

- ・経営管理及び労務管理の基本的事項を学習することによって、理美容業における運営管理手法の重要性を認識させ、理美容所の運営に役立たせる。
- ・理美容業において、適切な接客態度がいかに重要であるかを自覚させるとともに、消費者対応の基本を学ばせ、実践する能力を身に付けさせる。

1年次

学期	時数	授 業 計 画
1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者の視点から、経営や経営者について、経営管理の基本的理論を学び、経営の要点を学ばせる。 ・理美容業の経営について、業界の概要や競争の変化について理解させる。 ・資金管理の重要性について学ばせる。 ・期末試験
2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・人という資源 事業を進める上で最も管理が難しい経営資源が人である。人を管理するための労務管理の基本を学ばせる。 ・健康管理について、健康の意義、労働と疲労などや、職場における作業環境などについて学ばせる ・従業員としての視点から、社会人、従業員としての責任を理解させる。 ・社会保険について理解させる。 ・期末試験
3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客が求める価値について、顧客が喜ぶサービスとは何か。どう実現するかを学ばせる。 ・理美容業のマーケティング、マーケティング・ミックスの要因について学ばせる。 ・期末試験

2年次

学期	時数	授 業 計 画
1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスにおける人の役割 接客についての理解を深める ・接客の実践におけるポイントを学ばせる。 ・接客において予想されるトラブルや対応。問題の対策・対処について学ばせる。 ・復習、期末試験
2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・復習、期末試験
3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・復習、期末試験

成 績 評 価

- ・学期毎に試験を行い、100点満点中60点以上を合格とし、成績で評価する。

授業方法	授業時数	履修学年	教 科 目	担 当/実務経験教員
講義	150	1、2	理容技術理論	北上俊幸、佐藤 亮
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・理容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と修得とを養い、工夫と創造の能力とを身に付けさせる。 ・理容器具の正しい取扱いの方法と理容の基礎的技術とを作業の実際に即して指導し習熟させる。 ・優れた理容技術は、経験によって得られるものでなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調する。 				
1年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	30	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の手と器具の働き、理容器具の種類と特徴などについて理解させる。 ・クリッパー、はさみ、くし、レザー、日本かみそり及びアイロンについて、その種類、各部の名称、使用目的、形態と機能、選定法、研磨法、基本的操作法、手入れ法などを学ばせる。 シザーズの原理、レザーの原理、クリッパーの構造等を学ばせる。 ・ヘアドライヤー、ブラシ、被布及び布片類について、その種類、使用目的、形態と機能、手入れ法などを学ばせる。 ・器具の材質、形態に応じた消毒法について、具体的に理解させるとともに、その正確な実施方法、注意事項を身につけさせる。 ・理容に用いられるその他の電気器具類、備品類、容器類などについて、その種類、各部の名称、使用目的、形態と機能、選定法、基本的操作法、使用上の注意などを学ばせる。 ・理容技術の意義を学ばせ、技術を行う場合の心得を知らせる。 ・理容技術に必要な人体各部の名称を知らせる。 ・理容技術を行う場合の技術者の位置と姿勢、身体の機能その他理容技術を行う場合に考慮しなければならない基礎知識 を知らせる。 ・期末試験 		
2	30	<ul style="list-style-type: none"> ・カッティング、ヘアシャンプー技術、頭部処理技術、アイロン技術などの基本的な頭部技術の目的、種類、特徴、技術上の注意などについて学ばせる。 ・シェービングその他の基本的な顔面処理技術の目的、種類、特徴、技術上の注意点などについて学ばせる。 ・色彩の原理と理容における応用などについて学ばせる。 ・期末試験 		
3	30	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアセットリングなどの目的、種類、特徴、技術上の注意点などについて学ばせる。 ・美顔術、染毛技術などの理容の特殊技術の目的、種類、特徴、技術上の注意点などについて学ばせる。 ・期末試験 		
2年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	20	・1年次の復習(プリント等)、期末試験		
2	20	・1年次の復習(プリント等)、期末試験		
3	20	・筆記試験に向けての総復習、期末試験		
成 績 評 価				
・学期毎に試験を行い、100点満点中60点以上を合格とし、成績で評価する。				

授業方法	授業時数	履修学年	教 科 目	担 当/実務経験教員
講義	150	1, 2	美容技術理論	千葉 美穂 ・大久保 志穂
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と修得とを養い、工夫と創造の能力とを身に付けさせる。 ・美容器具の正しい取扱いの方法と美容の基礎的技術とを作業の実際に即して指導し習熟させる。 ・優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調する。 				
1年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	30	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の手と器具の動き、美容器具の種類と特徴などについて理解させる。 ・コーム、ヘアブラシ、レーザー及びヘアアイロンについて、その種類、各部の名称、使用目的、形態と機能、選定法、研磨 法、基本的操作法、手入れ法などを学ばせる。 ・ヘアドライヤー、ヘアスチーマー、ブラシ、被布及び布片類について、その種類、使用目的、形態と機能、手入れ法などを学ばせる。 ・シザーズの原理、ヘアドライヤーの熱によるセットを理解させる。 ・器具の材質、形態に応じた消毒法について、具体的に理解させるとともに、正確な実施方法、注意事項を身につけさせる。 ・美容に用いられるその他の電気器具類、備品類、容器類などについて、その種類、各部の名称、使用目的、形態と機能、選定法、基本的操作法、使用上の注意などを学ばせる。 ・美容技術の意義を学ばせ、技術を行う場合の心得を知らせる。 ・美容技術に必要な人体各部の名称を知らせる。 ・美容技術を行う場合の技術者の位置と姿勢、身体の機能その他美容技術を行う場合に考慮しなければならない基礎知識を知らせる。 ・美容におけるヘアデザインの造形の意義とその応用について学ばせる。 ・色彩の原理と美容における応用などについて学ばせる。 ・まつ毛エクステンションの基本的な種類、特徴技術上の注意テンなどについて学ばせる。 ・期末試験 		
2	30	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルプトリートメント、ヘアトリートメント、ヘアシャンプー、ヘアリンス技術、ヘアカットティング、パーマネントウェービングなどの基本的な頭部技術の目的、種類、特徴、技術上の注意などを学ばせる。 ・パーマネントウェービング、ヘアセッティング、マーセル・ウェービングなどの基本的な頭部技術の目的、種類、特徴、技術上の注意などを学ばせる。 <p>特殊技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘア・カラーリング、美顔術、化粧、マニキュア、ペディキュアなどの美容の特殊技術の目的、種類、特徴、技術上の注意点などについて学ばせる。 ・期末試験 		
3	30	<p>和装技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本髪の基本知識、技術の実際について、かつらのつけ方などについて学ばせる。 ・和装に関する一般知識、着付け技術について学ばせる。 ・期末試験 		
2年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	20	・1年次の復習(プリント等)、期末試験		
2	20	・1年次の復習(プリント等)、期末試験		
3	20	・筆記試験に向けての総復習、期末試験		
成 績 評 価				
・学期毎に試験を行い、100点満点中60点以上を合格とし、成績で評価する。				

授業方法	授業時数	履修学年	教科目	担当/実務経験教員
実習	900	1・2	理容実習	北上俊幸・佐藤 亮
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させること。 ・理容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身につけさせること。 ・個々の客の要望に応じた理容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。 				
1年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	160	器具の取扱実習 ・理容器具の操作方法、消毒方法、手入れ方法を確実に身に付けさせること。 ・用途に適した理容器具の選択方法について、理解させ、実践する能力を身に付けさせること。 基礎技術実習 ・理容技術を行う場合の位置、姿勢など理容技術を行う場合に必要な基本動作を身に付けさせること。 ・施設の清掃、消毒など理容所の衛生管理のために必要な措置を確実に身に付けさせる。特に、器具の消毒については、その重要性を十分に認識させるとともに、適正な方法で実施することを習慣付けさせることが必要であること。 頭部技術実習 ・カット、シャンプー技術、頭部処理技術、アイロン技術などの基本的な頭部技術を確実に身につけさせること。 顔面技術実習 ・この際、使用する器具は毎回必ず消毒することを身につけさせること ・シェービング、その他の基本的な顔面処理技術を確実に身に付けさせること ・この際、使用する器具は毎回必ず消毒することを身につけさせること ・期末試験		
2	190	特殊技術 ・美顔術、染毛技術などの理容の特殊技術を身に付けさせること 総合実習 ・頭部、顔面、特殊技術を適当に組み合わせることで調和の取れた理容技術を完成させるため、総合的な技術を身に付けさせること ・期末試験		
3	90	・総合実習 ・期末試験		
2年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	150	・カット、シェービング、シャンプーなどの復習 ・期末試験		
2	180	・国家試験に向けての練習 ・期末試験		
3	130	・国家試験に向けての総仕上げをする ・カット、シェービング、シャンプーなどの総復習 ・期末試験		
成 績 評 価				
・学期毎にカット(四技法→すくい刈り、指間刈り、連続刈り、固定刈り)、顔面仕上げ(姿勢、基本足位など)を試験し、100点満点中60点以上を合格とする。				

授業方法	授業時数	履修学年	教科目	担当
講義	30	1、2	カウンセリング	北上俊幸・佐藤 亮・千葉美穂・大久保志穂
学習目標				
<p>・理・美容サービスの一環として行うカウンセリングの実施上の留意点などについて、実地に即して学ばせ、理・美容師の業務を全う するためには、正確な技術を提供するとともに、顧客の要望に応じた適切なカウンセリングの実施が重要であることを認識させること。</p>				
1年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1～3	15	<p>・講師の先生を招き講話、技術等を見学させていただく</p> <p>・(理)カット、シェービング、シャンプーなど、(美)ワインディング、オールウェーブセッティング、セッティング、ヘアカラー、シャンプーなど</p>		
2年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1～3	15	<p>・講師の先生を招き講話、技術等を見学させていただく</p> <p>・(理)カット、シェービング、シャンプーなど、(美)ワインディング、オールウェーブセッティング、セッティング、ヘアカラー、シャンプーなど</p>		
成 績 評 価				
<p>・技術の過程、作品の仕上がりを確認する</p>				

授業方法	授業時数	履修学年	教科目	担当
実技	60	1、2	保健体育	北上俊幸
学習目標				
<p>・団体生活の強調をはかり、個々の良い個性を育む</p> <p>・スポーツを通じて個人の心身の健康を体得する</p>				
1年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	24	・宿泊研修 ・美容協会合同球技大会		
3	6	・長靴アイスホッケー		
2年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1～2	24	・遠足 ・美容協会合同球技大会		
3	6	・長靴アイスホッケー		
成 績 評 価				
<p>・コミュニケーションをはかれているか</p>				

授業方法	授業時数	履修学年	教科目	担当
講義実習	30	1、2	SNSプロモーション	北上俊幸・佐藤 亮・千葉美穂・大久保志穂
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用したマーケティングについて基盤となる知識を身に付ける。 ・理、美容業界と相性のいいinstagramをメインに情報発信や集客について学ばせる。 				
1年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1～2	10	・基礎知識 ・SNSマーケティング ・運用リスクについて ・実践ディスカッション		
2年次				
1～2	20	・マーケティングへの活用 ・運用戦略 ・instagramについて ・実践		
成 績 評 価				
・意欲的に取り組んでいるか				

授業方法	授業時数	履修学年	教科目	担当
実習	30	1.2	着付	千葉美穂 ・大久保志穂
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統民族衣装について知る ・一人で着る着付、お相手に着付ける着付技術の習得 ・礼儀作法、思いやり、助手の心得等を学ぶ 				
1年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	15	・初中伝 ・小紋、付け下げ、訪問着、男・女袴、振袖、留袖など着物に関する基礎知識と技術を講義と実習		
2年次				
2	15	・奥伝 ・浴衣、小紋を一人で着る ・留袖、振袖をお相手に着付ける		
成 績 評 価				
・各自の仕上がりを確認評価する				

授業方法	授業時数	履修学年	教科目	担当
講義実習	30	1	カラーアナリスト・エステ	志村圭子
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> 色の表し方など色について学ぶ 暖色系、寒色系を学ぶ 心身の健康と美について、またエステの種類、特徴、技術上の注意などを身につける 				
1年次				
学期	時数	授業計画		
1	20	<ul style="list-style-type: none"> 色の表し方、見え方、情緒効果、など色について学ぶ 眼の色、肌、のいろなどからその人に合う色の選び方を身につける 		
		<ul style="list-style-type: none"> 手技の順番を身につける 肌へのタッチ、力加減など、技術上の注意をしながら順番を身につける 		
3	10			
成績評価				
<ul style="list-style-type: none"> 手技の順番が正しいか、力の入れ具合などをみる 肌色や目、口びる、ほほ、首の色などでモデルにあうカラーを4シーズンに分け、暖色系か寒色系布を使って選び3人のモデルの内2人正解し、課題90点以上で合格とする 合格者の内、希望者に認定書あり 				

授業方法	授業時数	履修学年	教科目	担当
講義実習	30	1・2	ネイル	米内 小夜里
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> 技術概論、爪の構造、形状、技術上の注意とカウンセリングなどを学ぶ ネイルアート、リペアを身につける 				
1年次				
学期	時数	授業計画		
1	21	<ul style="list-style-type: none"> 技術概論、爪の構造、形状、技術上の注意とカウンセリングなどを学ぶ 		
2年次				
学期	時数	授業計画		
1	9	<ul style="list-style-type: none"> フレンチネイル ネイルアート リペア技術 		
成績評価				
<ul style="list-style-type: none"> 技術の過程、作品の仕上がりを確認する 認定証希望者には試験を実施する 				

授業方法	授業時数	履修学年	教科目	担当
講義実習	60	1・2	メイクアップ	千葉美穂・大久保志穂
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・使用上の注意、用途等の基礎知識を学ぶ ・一般的なメイクを人にしてあげる事ができる 				
1年次				
学期	時数	授 業 計 画		
2	30	<ul style="list-style-type: none"> ・下地、ファンデーション、アイライナー、アイライン、シャドー、チーク、リップ、ハイライト等の使い方と入れ方を身につける ・メイク3級検定 ・アイブロウ検定 		
2年次				
学期	時数	授 業 計 画		
2	30	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊メイク ・メイク2級検定 ・アイブロウ検定 		
成 績 評 価				
<ul style="list-style-type: none"> ・アイライナー、アイライン、シャドー、アイブロー、チーク、リップ、ハイライト等が適切なところにいれているかを見る ・60点以上を合格とする ・合格者の内、希望者に認定証あり 				

授業方法	授業時数	履修学年	教科目	担当
講義実習	60	2	国家試験対策	北上俊幸・佐藤 亮・千葉美穂・大久保志穂
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国家試験筆記・実技試験の合格の為の対策をする 				
2年次				
学期	時数	授 業 計 画		
2～3	60	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験対策の練習問題、解説 ・国家試験実技課題のシミュレーション (理)カット、シェービング、(美)ワインディング、オールウェーブセッティング、カット対策 ・実技試験衛生面の減点事項の指導 		
成 績 評 価				
<ul style="list-style-type: none"> ・筆記・実技試験にむけて取り組み姿勢 				

授業方法	授業時数	履修学年	教科目	担当
実習	240	1、2	総合技術	北上俊幸・佐藤 亮 千葉美穂・大久保志穂
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・必修科目において習得した基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、理美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。 ・常に新しい技術の吸収を怠らず、また、自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。 				
1年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1～3	120	<ul style="list-style-type: none"> ・(理)カット、シェービング、ヘアカラー、シャンプーなど、(美)ワインディング、オールウェーブセッティング、セッティング、ヘアカラー、シャンプー、アップスタイルなど ・ヘアショー 		
2年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1～3	120	<ul style="list-style-type: none"> ・(理)カット、シェービング、ヘアカラー、シャンプーなど、(美)ワインディング、オールウェーブセッティング、セッティング、ヘアカラー、シャンプー、アップスタイルなど ・ヘアショー 		
成 績 評 価				
<ul style="list-style-type: none"> ・技術の過程、作品の仕上がりを確認する 				

授業方法	授業時数	履修学年	教科目	担当
実習	30	1、2	トータルビューティ	北上俊幸・佐藤 亮 千葉美穂・大久保志穂
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・理・美容技術の基礎を学ばせ、応用の仕方や実践での接客マナーや技術について学ばせる。 				
1年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	6	ヘアカラー基礎知識 ・ シャンプーの基礎知識		
2	9	ヘアカラー基礎技術 ・ シャンプー技術 ・ ヘアカラー技術		
2年次				
学期	時数	授 業 計 画		
1	6	リアルサロンワークに向けて ・ 接客		
2	9	シャンプー技術・ カラー、ヘアカラー応用		
成 績 評 価				
<ul style="list-style-type: none"> ・技術の過程、作品の仕上がりを確認する 				

授業方法	授業時数	履修学年	教科目	担当/実務経験教員
実習	900	1・2	美容実習	千葉美穂・大久保志穂
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させる。 ・美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身につけさせる。 ・個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。 				
1年次				
学期	時数	授業計画		
1	160	<ul style="list-style-type: none"> ・美容器具の操作方法、消毒方法、手入れ方法を確実に身に付けさせること。 ・用途に適した美容器具の選択方法について、理解させ、実践する能力を身に付けさせる。 ・美容技術を行う場合の位置、姿勢など美容技術を行う場合に必要な基本動作を身に付けさせる。 ・施設の清掃、消毒など美容所の衛生管理のために必要な措置を確実に身に付けさせる。特に、器具の消毒については、その重要性を十分に認識させるとともに、適正な方法で実施することを習慣付けさせることが必要であること。 ・シャンプーイング、ヘアカットイング、パーマメント・ウェービング、ヘアセットイング、などの基本的な頭部技術を確実に身につけさせること。 ・期末試験 		
2	190	<ul style="list-style-type: none"> ・シャンプーイング、ヘアカットイング、パーマメント・ウェービング、ヘアセットイングなどの基本的な頭部技術を身につけさせること。 ・この際、使用する器具は毎回必ず消毒することを身に付けさせること。 ・ヘア・カラーリング、ネイル技術、など美容の特殊技術を身に付けさせること。 ・期末試験 		
3	90	<ul style="list-style-type: none"> ・ワインディング、ヘアセットイングなどの基本的な頭部技術を身につけさせること。 <p>総合実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭部、顔面、特殊技術を適宜に組み合わせることで調和の取れた美容技術を完成させるため、総合的な技術を身に付けさせること。 ・期末試験 		
2年次				
学期	時数	授業計画		
1	150	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアカットイング、ワインディング、セットイング、カラーリングなどを身に付けさせる ・期末試験 		
2	180	<ul style="list-style-type: none"> ヘアカットイング、ワインディング、セットイングなど国家試験に向けての練習 ・期末試験 		
3	130	<ul style="list-style-type: none"> 国家試験に向けての総仕上げをする セットイング、シャンプーなどの総復習 ・期末試験 		
成績評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・学期毎にワインディング、オールウェーブセットイングのいずれか、又は両方をシンメトリー、毛先、シェープ、ステムの方向、仕上がりなどを試験し60点以上を合格とする ・技術の過程、作品の仕上がりを確認する 				